

穂学



令和3年度

広州日本人学校 学校便り

[No.16]

令和4年1月14日(金)

発行責任者 校長 加藤康徳

「私の尊敬する人」

「先行きの見えない混沌とした現代をたくましく生き抜いていくためには、どうしたら良いか」と誰かに尋ねられたら、私は真っ先にこの人のことを思い出します。

その人の名前は「サー・アーネスト・ヘンリー・シャクルトン」。

シャクルトンは、二十世紀の初頭、スコットやアムンセンと南極大陸の極点到達争いを繰り広げていたイギリスの探検家です。当時の南極大陸への探検は、今とは違い正に命がけの旅でした。シャクルトンの船「エンデュアランス号」も南極大陸を目前に、氷塊に閉じ込められ、そして沈没してしまいました。



しかし、この絶体絶命の状況でも彼はそれまでの目標を「南極点経由の南極大陸横断」から「乗組員全員を無事に本国に生還させる」ことに切り替え、出航から二年後、極寒の南極から隊員二十七名全員を無事に本国に連れて帰りました。真に有言実行を成し遂げた偉人だと私は思っています。このように奇跡の生還を成し遂げたシャクルトンですが、教科書にも載っているスコットやアムンセンと比べると当時の世間の彼への評価は低かったようです。ただ、現在は極限状態における彼のリーダーシップが再評価され、現在は経営学を学ぶ人々の教材にもなっていると聞きました。同じ南極大陸をめざしたスコット隊のガラードは、その著書の中でこう述べています。「科学調査と地理調査を組織化するならスコット、冬の冒険ならウィルソン、極点に急いで行って来るだけならアムンセン、ただ、あなたがもし窮地から抜け出したいと思うなら断然シャクルトンを呼べ」と。叶わない夢ですが、私もいつかこのように呼ばれたいものです。

最後にシャクルトンがこの探検の乗組員を募集した時の伝説の広告文を紹介いたします。

「求む男子。至難の旅。僅かな報酬。極寒。暗黒の続く日々。絶えざる危険。生還の保証なし。ただし、成功の暁には名誉と称讃を得る」

伝説の広告文と言われる所以は、テレビが無いこの時代、新聞の片隅に書かれたこの広告で約五千人が応募をしてきたからでした。(※対費用効果が高い?)

新型コロナをはじめとする「人類史に残るような災害」や「想定外の事件・事故」のニュースにあふれる現在、目先の利益、地位や名誉より、「自分の力で何かを切り開いていく勇気」に触れたい人には、ぜひ読んでもらいたいです。いつか子どもたちがシャクルトンについて書かれている本を読むことを願っています。

「令和3年度 学校評価アンケート（後期）結果」

学校教育目標「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童生徒の育成」

○前期より数値が上がっている

場合は黄色

○前期より数値が5ポイント以上

下がっている場合は青色

○数値の算出方法

できている (AB) - できていない (CD) ×100= 達成度 (%)

総数 (約160人)

<保護者>	前期評価	後期評価
学校は基礎的・基本的な学力の定着を図っている。	97.0	98.8
学校は、自分の考えを発信する力をつけるための工夫を行っている。	97.0	98.1
学校は話し合い活動や、作品発表会などの工夫した指導を積極的に取り入れている。	97.0	98.8
学校は家庭学習の推奨や、その指導の工夫を積極的にしている。	89.1	89.7
学校は読書を推奨している。	86.1	87.3
お子さんは学校の授業は分かりやすいと言っている。	89.6	95.5
学校全体に活気があり、子ども達が生き生きと活動している。	96.4	99.4
学校は一人一人の個性を大切に、伸ばそうとしている。	97.5	96.2
学校は子どもたちの夢を大切に、将来を見通した教育をしている。	94.6	93.5
学校はお子さんの能力や努力を適切・公平に評価している。	97.5	99.4
学校は命の大切さや人権を尊重する意識を指導している。	92.9	95.4
学校は児童生徒の個性や良さを伸ばすための行事などの工夫を行っている。	97.6	97.4
学校は進んであいさつをする態度を育てている。	97.5	96.8
学校は適切な言語環境を育てるため、丁寧な言葉遣いの指導をしている。	92.4	91.4
学校は英語や中国語指導、異文化交流などを通して国際性を育てている。	93.5	95.7
学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成をしている。	90.5	96.7
学校は、児童生徒の指導において大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）やタブレット端末等のICTを活用した授業の工夫を行っている。	95.7	98.7
学校は児童生徒の体力の育成の為、各種取り組みをしている。	82.6	86.5
学校は校内の衛生面や感染対策等に気を付け、健康な環境づくりをしている。	98.2	98.1
学校は校内の安全点検・整備を行い、安心安全な環境づくりをしている。	98.2	96.9
学校はいじめの未然防止、早期発見・早期解決に努め、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいる。	90.0	90.5
学校は児童生徒及び保護者からの相談に適切に応じている。	98.8	97.5
学校は保護者を学校に迎え入れる雰囲気をつくっている。	97.1	98.8
学校は授業参観及び懇談会、通信、ホームページ、ロイロノート等を通して、教育方針や学校、子どもの様子を保護者に伝えている。	98.8	99.4

<児童 小1・小2>

「めあて」をたいせつにして授業（じゅぎょう）をうけています。	95.4	92.6
授業中（じゅぎょうちゅう）は先生や友だちのはなしをよくきいています。	93.8	94.1
授業中（じゅぎょうちゅう）はじぶんのかんがえをノートにかき、はっぴょうしています。	98.5	92.6
授業中（じゅぎょうちゅう）は友だちときょうりよくして、もんだいにとりくんでいます。	92.3	94.1
しゅくだいをがんばっています。	96.9	100
わすれものをしません。	87.7	77.9

すすんで本をよんでいます。	86.2	85.3
先生の授業はよくわかります。	95.4	98.5
にがてなことや、むずかしいこともあきらめず、がんばっています。	93.8	100
おとなになったら、したいことや、なりたいものがあり、それにむかってがんばっています。	90.8	94.1
先生は、がんばったことをほめてくれます。	93.8	95.6
だれとでもなかよく、楽しく学校生活をすごしています。	95.4	91
道徳の授業ではじぶんのことについて考えたり、友だちに考えをはなしたりしています。	95.4	94.4
教室のじぶんのしごとに、一生けんめいと取り組んでいます。	92.3	95.6
音楽発表会などのれんしゅうにすすんで取り組んでいます。	93.8	95.6
いつでも、だれにでも気持ちのよいあいさつをすることができます。	93.8	97.1
ていねいな言葉（ことば）づかいをすることができます。	92.3	88.7
アイパッドを使い、ロイロノートなどをじぶんのべんきょう役立てています。（小2のみ質問に答える）	96.8	96.6
中国と日本とのちがい（生活・たべもの・祭りなど）をたのしくべんきょうしています。	93.8	92.6
英語（えいご）や中国語の授業（じゅぎょう）をたのしくべんきょうしています。	86.2	85.3
おうちの人や、まわり的人是あなたをおうえんしてくれています。	90.8	89.7
進（すす）んで運動（うんどう）しています。	92.3	91.2
手あらい・アルコール消毒（しょうどく）をすすんでしています。	92.3	88.2
好ききらいせず、お弁当をのこさず食（た）べています。	87.5	89.7
くつばこやつくえの中、ロッカーのせいとんをしています。	87.3	85.3
ろうかを走（はし）らず、あるいてどうできています。	90.8	83.8
こまったときやなやんだとき、先生ははなしをきいてくれます。	93.8	95.6

<児童生徒 小3～中3>

めあてを意識して授業に参加している。	94.0	96
授業中は先生や友達の話をよく聞いている。	96.8	97.2
授業中は自分の考えをノートに書き、発表している。	87.0	88.1
表やグラフ、新聞など資料を作成、活用し、工夫して自分の考えを伝えている。	88.5	87.5
積極的に友達と話し合ったり、作成した作品を発表し合ったりして学習を深めている。	92.5	93.8
宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる。	92.0	91.5
学習用具などのわすれものをしない。	84.3	82.5
進んで読書をしている。	83.8	84.7
先生の授業は分かりやすい。	95.4	95.5
何事にも目標をもち、できないことや難しいことにも取り組んでいる。	89.5	88.1
先生は、自分の良いところを大切に伸ばそうとしている。	91.6	99.4
将来の夢をもち、それに向かって努力していることがある。	83.2	87
先生は、努力したことや学習したことなどを適切・公平に評価している。	97.0	99.4
あなたは、「人の役にたった、人に喜んでもらった」という経験がある。	97.0	91.5
だれとでも仲良く、楽しく過ごすことができます。	93.5	91
道徳の授業では問題について考えたり、友達に考えを伝えたりしている。	95.0	94.4

<児童生徒 小3～中3>

係活動や当番、委員会活動などの仕事を一生けんめい取り組んでいる。	97.0	94.4
音楽発表会などの行事に進んで取り組んでいる。	95.0	94.3
あなたは、できるようになってうれしかった経験がある。	96.5	97.7
いつでも、だれにでも気持ちのよいあいさつをすることができる。	89.4	89.3
ていねいな言葉づかいをすることができる。	85.9	88.7
積極的にタブレット端末 (ipad) を使い、ロイロノートなどを学習に役立てることができる。	93.0	96.6
他国 (中国含む) の文化の理解に努め、積極的に学ぶことができる。	90.0	91.5
英語や中国語の学習に進んで参加している。	90.0	90.4
あなたは、できるようになってうれしかった経験がある。	94.0	94.9
体力の向上のため、進んで体を動かしている。	84.9	80.8
自分の体調に気をつけて健康な生活している。	87.0	89.8
こまめな手洗い・アルコール消毒をし感染予防をしている。	94.0	93.2
好ききらいせず、お弁当をのこさず食べている。	89.6	87
ろうかは走らないで安全に気をつけて歩いている。	84.5	82.5
避難訓練の時には決まりを守って行動している。	95.0	97.7
学校は教室内の掲示物やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。	97.0	85.3
靴箱やロッカーの整頓をしている。	88.9	87
困ったときや悩んだとき、先生は相談に乗ってくれる。	91.6	97.7

今回、特にポイントが上がった項目は以下の項目です。

<保護者>

- 「お子さんは学校の授業が分かりやすいと言っている」 89.6%→95.5%
- 「学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成をしている。」 90.5%→96.7%

<児童 小1・小2>

- 「苦手なことや難しいこともあきらめずに頑張っています。」 93.8%→100%

<小3～中3>

- 「先生は自分の良いところを大切にし、伸ばそうとしている。」 91.6%→99.4%
- 「困ったときや悩んだとき、先生は相談に乗ってくれる。」 91.6%→97.7%

評価が大きく下がったのは、以下の項目でした。

<児童 小1・小2>

- 「授業中は自分の考えをノートに書き、発表しています。」 98.5%→92.6%
- 「忘れ物をしません。」 87.7%→77.9%
- 「ろうかを走らずに歩いて移動できています。」 90.8%→83.8%

<児童生徒 小3～中3>

- 「あなたは人の役にたった、人に喜んでもらえたという経験がある。」 97.0%→91.5%
- 「学校は教室内の掲示物やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。」
97.0%→85.3%

保護者の皆様や子どもたちから頂いたこの評価結果を真摯に受け止め、来年度の学校経営に生かしていきます。御協力、ありがとうございました。